

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年3月21日（日）

2 確認結果の概要

新事務本館

3 確認項目

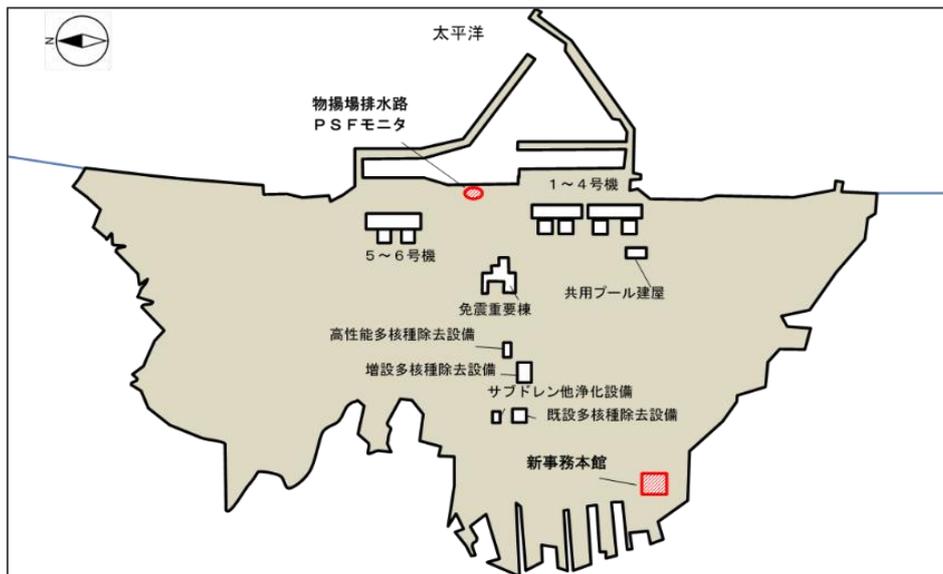
- (1) 令和3年3月20日に発生した地震後の緊急時対策本部での情報収集
- (2) 降雨時における物揚場排水路簡易放射線検知器の指示値の確認

4 確認結果の概要

- (1) 令和3年3月20日に発生した地震後の緊急時対策本部での情報収集について

令和3年3月20日の18時9分頃に宮城県沖を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生したことから、新事務本館2階緊急時対策室において、東京電力社員が地震後に実施していた構内パトロールの進捗状況等を確認した。（図1）

- ・ 構内パトロールの結果、5/6号機で発生する滞留水を貯留・処理しているFタンクエリアのタンクの滑動が確認されたが漏えいはなく、外部に影響を及ぼす事象は確認されなかった。
- ・ 東京電力によると、プラント関連パラメータ、発電所敷地境界ダストモニタ指示値等についても異状は確認されていないところであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

- (2) 降雨時における物揚場排水路簡易放射線検知器の指示値の確認について
3月2日18時18分に物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器
(以下、「P S Fモニタ^{※1}」という。)において「高警報」が発生し、汚
染水の漏えいの可能性が否定できないことから、同日23時40分に物揚場排
水路に設置されているゲートを閉止する事象があった。その後、同排水路
から採取した水を分析した結果、通常の変動範囲内の値であることが確認
されたため、3月9日19時05分にゲートが開放された。3月21日の昼から
夜にかけて降雨が予想されていることから、前回降雨があった3月13日に
引き続き物揚場排水路のP S Fモニタ指示値を確認した。(図1)
- ・福島第一原子力発電所構内では3月20日夜から22日朝にかけて降雨があ
った。21日夜に1時間あたり数mmの降水量が観測された時間帯にP S F
モニタ指示値の上昇が見られたが、通常の変動範囲内であった。
- ※1 P S Fモニタ プラスチック・シンチレーション・ファイバモニタの略語であり、放
射線が入射すると光を発するプラスチック製ファイバ等で構成された装置。